

ニューオータニ健康保険組合

平成29年度

収入支出予算

去る2月22日に開催された第123回組合会において、
当健康保険組合の平成29年度予算が可決・承認されました。

一般勘定

収入合計	1,603,132千円	経常収入	1,562,656千円
支出合計	1,603,132千円	経常支出	1,523,801千円
		経常収支	38,855千円

収入

(単位：千円)

科 目	金 額
健康保険料収入	1,543,062
保険料	1,542,528
その他	534
調整保険料収入	20,535
繰入金	5,000
準備金限度内部分繰入	0
退職積立金繰入	5,000
別途積立金繰入	0
国庫補助金収入	823
特定健診等事業収入	5,470
前期高齢者交付金	0
財政調整事業交付金	19,938
雑収入	8,304
収入合計	1,603,132
経常収入	1,562,656

支出

(単位：千円)

科 目	金 額
事務費	47,551
保険給付費	813,656
法定給付費	813,656
納付金	604,738
前期高齢者納付金	251,236
後期高齢者支援金	330,846
退職者給付拠出金	22,647
老人保健拠出金	6
その他	3
保健事業費	56,725
財政調整事業拠出金	20,535
その他	1,234
予備費	58,693
支出合計	1,603,132
経常支出	1,523,801
経常収支	38,855

基礎数値

被保険者数 3,960名
健康保険料率 99.0/1000
負担割合 事業主5.6：被保険者4.4
平均標準報酬月額 297,086円

財産状況 (H29.2.1時点)

法定準備金 259,427,000円
別途積立金 445,720,345円
退職積立金 11,999,342円
合 計 717,146,687円

介護勘定

収入合計	165,881千円	支出合計	165,881千円
------	-----------	------	-----------

収入

(単位：千円)

科 目	金 額
介護保険収入	148,878
雑収入	17,000
繰入金	3
収入合計	165,881

支出

(単位：千円)

科 目	金 額
介護納付金	164,816
介護保険料還付金	100
積立金	963
雑支出	2
支出合計	165,881

基礎数値

2号被保険者数 2,418名
介護保険料率 16.0/1000
負担割合 事業主5：被保険者5
平均標準報酬月額 341,213円

財産状況 (H29.2.1時点)

介護準備金 24,688,568円

平成29年度の保健事業の変更ポイント

■ 健診後のフォローアップが変わります

平成27年度から、健診を受診した40歳以上の方を対象に「健康サポートプログラム」を実施してきましたが、平成29年度からその内容を下記のように変更します。

50歳以上

→ 健康サポートプログラム

対象者

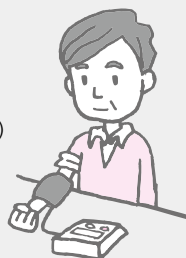
◇ 次の項目にひとつでも該当する場合に対象となります。

- BMI：30以上
- 血圧：収縮期140mmHg以上、または拡張期90mmHg以上
(日本高血圧学会ガイドラインに基づく)
- 中性脂肪：300mg/dL以上(日本動脈硬化学会ガイドラインに基づく)
- 空腹時血糖：126mg/dL以上(日本糖尿病学会ガイドラインに基づく)
- HbA1c：6.5%以上(日本糖尿病学会ガイドラインに基づく)

※薬を飲んでいてもこの基準に該当した方は健康サポートプログラムの対象となります。
※腹囲 男性85cm未満・女性90cm未満でもこの基準に該当した方は対象となります。

実施内容

- 健診後1回の面談(30分)
- 面談1か月後の状況確認(10分程度の電話)



40歳～49歳

→ 特定保健指導

対象者

◇ 次の①、②の項目に該当する場合、該当する項目の数により「積極的支援」と「動機付け支援」のグループに分けて実施します。

- ① ● 腹囲：男性85cm以上、女性90cm以上、またはBMI25以上
- 血圧：収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上
- 脂質：中性脂肪150mg/dL以上、またはHDLコレステロール40mg/dL未満
- ② ● 血糖：空腹時血糖100mg/dL以上、またはHbA1cが5.6%以上
- 喫煙歴あり

実施内容

【積極的支援】

- 健診後1回の面談(30～40分)
- 面談後2、3、5、6か月目にメールまたは電話でフォロー
- 面談後6か月後に終了時評価

【動機付け支援】

- 健診後1回の面談(30～40分)
- 面談後2、6か月目にメールまたは電話でフォロー
- 面談後6か月後に終了時評価



特定保健指導は、従来型と活動型のうちどちらかを対象者ご自身が選択できます！

従来型……面談時に配布される管理ノートを使いながら、メールや電話で受けるアドバイスを参考に食事や運動を行い、数値の改善を目指します。

活動型……脈拍計測機能付き活動量計を身に付け、専用アプリと連動させながら、毎日の生活のなかで効率的に脂肪燃焼ができるよう行動を変え、数値の改善を目指します。メールや電話のやり取りは、本人・保健師双方が自動的に記録された行動データを見ながら実施。状況をしっかり把握したうえで、アドバイスを受けられます。